

第33回Tonomachi Café（オンライン）を開催いたしました。

2021年1月7日（木） 18：00～19：50

テ ー マ：人類は冬眠できるのか？～能動的低代謝の研究と応用～

講 師：（国研）理化学研究所 生命機能科学研究センター 砂川 玄志郎 上級研究員

企業紹介：大阪サニタリー（株） 柿崎 良哉 取締役技術部長

●参加者：50名 （63名申込）

今年度第6回目となる第33回Tonomachi Caféもオンラインで開催され、市内外の企業関係者27名その他、大学、公益財団法人、国立研究開発法人の関係者等が参加した。

講師の砂川上級研究員からは、人間を冬眠様状態（低代謝・低体温状態）に誘導する医療技術の可能性や、それをマウスで効率的に研究する手法、将来の社会実装へ向けた課題等が紹介された。参加者からは研究の独自性を評価する声があり、人工臓器の安定的な保存法や救急患者の搬送への応用、より簡便な冬眠誘導法の可能性、体内時計や免疫への影響、覚醒時の体内はどのような状態になるのかといった内容の質問が寄せられた。

また企業紹介では大阪サニタリー（株）の柿崎良哉取締役技術部長から同社の食品・飲料等の設備開発技術を活用した再生医療分野での産業化を目指す取組みが紹介された。